

1. 科目名 (単位数)	高齢者福祉論 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP1101
2. 授業担当教員	村川 浩一		SCMP1301
4. 授業形態	講義、グループレポート作成と発表、ディスカッション、小テスト	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	<p>人類の長年の願望だった長寿化社会の実現が先進国のみならず開発途上国でも見られる現象となった。現在日本は、少子高齢化の影響で人口の減少と介護人材の不足が社会問題となっており、社会が健全に発展するためには、少子・高齢社会の的確な現状の把握と問題の本質を理解し、ニーズに基づいた積極的な対応が必要である。</p> <p>本講義では、第1に、人口構造と世帯構成、高齢者の精神的・身体的状態、経済的状态など高齢者を取り巻く環境について理解を深める。第2に、高齢者福祉の発展過程として高齢者福祉制度の萌芽から老人福祉法、現在に至るまでの変化について検討する。第3に、支援が必要な虚弱高齢者、予防高齢者と要介護高齢者の現状、公的サービスの現状と問題点などについて把握する。第4に、介護保険法に規定されている介護に関連する介護予防と各種サービス、ケアマネジメント、終末期ケアなど諸事項に関する法律について、現状と問題点を検討する。最後に、要介護状態になっても住み慣れた地域や選好する場所で生活し続けるためには、どのような政策や実践が必要であるかを地域で調査を実施し、社会に貢献できることを目指す。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人口学的特徴とライフサイクルの観点から高齢者の生活実態や世帯構成、経済的状況について理解を深める。 2. 高齢者福祉制度の仕組み、発展過程と課題について理解を深め、今後実現可能な政策とは何かを調査する。 3. 公的介護保険制度の現状と問題点について把握し、要介護高齢者の介護ニーズに適切に対応するために解決すべき課題を把握する。 4. 高齢者ニーズを満たす方法として、血縁関係のみならず地域ネットワークの在り方についても理解を深め、高齢者が社会参加を積極的にするためには、どのような環境づくりが必要であるか、調べる。 5. 終末期ケアの在り方 (人間観や倫理を含む) について理解し、高齢者が望む場所で最期を迎えるために、必要な政策と地域ネットワークのありがたさを理解する。 6. 介護保険制度の仕組みについて理解を深め、介護サービス事業所の現状と問題点を調査し、改善策を把握する。 7. 相談援助活動において、要介護高齢者の人権を守るための成年後見制度など法制度の内容を理解し、成年後見制度が普及しない理由や問題点を把握する。 8. 本科目は、国家試験科目であり、国家試験に通用するレベルまで実力アップを図ることを目指す。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回の授業の最後に当日の講義内容の要点、意見メモを提出する。 2. グループディスカッションは、討議内容をまとめ発表する。 3. レポート課題「高齢者ケアの現状と課題」など400字程度 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 杉本敏夫・橋本有里子編、『学びを追及する高齢者福祉』第2版 教育情報出版。</p> <p>【参考書】 社会福祉士養成講座編集委員会『高齢者に対する支援と介護保険制度』中央法規。 *授業中に適宜資料を配布する。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢社会の理解と高齢者の特徴について理解されているのか 2. 高齢者と関連した法律や制度について理解されているか 3. 介護保険制度 (財政やサービス等) について理解されているのか <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニテスト及び授業への積極的な参加度 (討議や発表など) : 40% 2. 課題レポート及び予習ノート : 30% 3. 総括テスト : 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>・高齢者福祉とその課題を理解する上で多様な内容が含まれているが、講義に集中しノートを作り復習することで、高齢者福祉の将来のあり方等に役立つ。意見や質問を遠慮せずに出して行こう。また、高齢者施設等を見学するなど理解を深めていこう。</p>		
13. オフィスアワー	初回授業で連絡		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	なぜ高齢者福祉を学習するのか? ・ディスカッション (高齢者福祉への関心、動機づけ)	事前学習	教科書用意、シラバス確認
		事後学習	講義資料等の復習 (配付された資料による)
第2回	高齢者福祉の歴史 (大戦前～現代) ・人口動向: 少子高齢化、後期高齢者の増加、人口減少社会	事前学習	前回資料の復習、シラバス確認
		事後学習	講義及び討議内容等の復習 (人口動向ほか)
第3回	高齢者の法制度 (1) 老人福祉法 (VTR 活用)	事前学習	シラバス確認、教科書熟読
		事後学習	講義資料等の復習 (老人福祉法等)

第4回	高齢者の法制度(2)老人保健法～高齢者医療確保法 (予防、治療、リハビリテーション、高齢者の医療費)	事前学習	シラバス確認、教科書熟読
		事後学習	講義資料等の復習(老人保健・高齢者医療法)
第5回	高齢者の法制度(3)介護保険法 ・要介護認定、ケアプラン(介護サービス計画)、 保険料・利用料)	事前学習	シラバス確認、教科書熟読
		事後学習	講義資料等の復習(介護保険法等)
第6回	地域包括支援センター(DVD)と居宅介護支援事業所 ・ケアマネジャーの役割等を含む(VTR)	事前学習	シラバス確認、教科書熟読
		事後学習	講義資料の復習(地域包括支援センター等)
第7回	高齢者福祉サービス(1)施設サービス・特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)、養護老人ホームその他 VTR	事前学習	シラバス確認、教科書熟読
		事後学習	講義資料等の復習(施設ケア・施設サービス)
第8回	高齢者福祉サービス(2)在宅サービス・訪問介護、通所介護、 短期入所、小規模多機能型居宅介護その他(DVD)	事前学習	シラバス確認、教科書熟読
		事後学習	講義資料等の復習(在宅ケア・サービス)
第9回	高齢者福祉サービス(3)福祉用具、住宅改修 ・福祉用具の貸与、購入(DVD) (関連)補装具/住宅リフォーム	事前学習	シラバス確認、教科書熟読
		事後学習	講義資料等の復習(在宅ケア・福祉用具等)
第10回	高齢者福祉サービス(4)認知症関係 ・認知症ケアの10の原則、認知症自立度判定基準	事前学習	シラバス確認、教科書熟読
		事後学習	講義資料等の復習(認知症ケア)
第11回	認知症ケアの要点、医療との関連、介護福祉士の役割 *ディスカッション「認知症ケアを考える」 介護報酬について	事前学習	シラバス確認、教科書熟読
		事後学習	講義資料等の復習(認知症の医療と介護)
第12回	高齢者虐待防止法、認知症基本法、その他高齢者関係法 ・人権尊重、権利擁護(成年後見等)	事前学習	シラバス確認、教科書熟読
		事後学習	講義資料等の復習(高齢者虐待防止法ほか)
第13回	高齢者の健康づくり・生きがい ・フレイル(Frail)の理解:予防の重要性 ・高齢者の多様な活動、市町村総合事業	事前学習	シラバス確認、教科書熟読
		事後学習	講義資料等の復習(健康づくり・介護予防)
第14回	関連事項:アジア諸国における少子高齢化の動向について *ディスカッション「高齢者福祉の今後」	事前学習	シラバス確認、教科書熟読
		事後学習	講義資料等の復習(配布プリントによる)
第15回	総括講義—2025 地域包括ケアシステムに向かって、 認知症 700 万人時代、介護保険改革の諸課題と高齢者福祉 の展望	事前学習	シラバス確認、教科書熟読
		事後学習	キーワードの確認・復習(地域包括ケアシステム)
期末試験			